

学習時間の比較

－ 日本・上海・香港における小中高校生調査から －

垂見 裕子(早稲田大学)

1. はじめに

日本の児童生徒の学力低下の要因の一つとして、「家庭での学習時間」の減少が挙げられる。また学力格差の要因として、「(塾などの)学校外教育投資」の格差が注目される。「家庭での学習時間」と「塾などでの学習時間」は別々に議論されることが多いが、以下の理由から、併せて検討することが必要と考える。(1)国際比較の観点から、一方のみに注目した場合、児童生徒の放課後の学習量の真の比較をしていない可能性がある。例えば塾が普及している社会では、家庭での学習時間が短くなることも考えられる。(2)教育格差という観点から、一方のみを検討することは、格差の過小評価をする可能性が考えられる。例えば、家庭での学習も通塾も行っていない児童生徒は、学力の面において二重に不利となる。

本報告では、家庭での学習時間と塾などでの学習時間とともに「学校外学習時間」と定義する。上海、香港の児童生徒と比較、学校段階別に比較することにより、日本の児童生徒の学校外学習時間の変化、また学校外学習時間の格差について報告する。

2. データの概要

本報告は、「青少年期から成人期への移行についての追跡的研究」(Japan Education Longitudinal Study、以下 JELS、研究代表者耳塚寛明)データを用いる。JELSは、定点観測と追跡的研究の視点から、学力調査・児童生徒質問紙調査・保護者質問紙調査などを実施してきた。本報告では、Wave3(2009年)、Aエリア、小3・小6・中3・高3のデータを使用する。Aエリアは、関東地方、大都市圏近郊に位置する人口約25万人の中都市である。市内

全域から約半数の小中学校を無作為に抽出して対象とした。2010年には、香港大学の研究者の協力を得て、日本のデータとの比較を前提に、九龍のA区、新界のC区において、児童生徒質問紙調査、保護者質問紙調査を実施した。2011年には、復旦大学の研究者の協力を得て、上海市のA区において同様の調査を実施した。本報告では、日本のAエリア、香港のA区(人口約28万人で、香港の中心部に立地する)、上海のA区(人口約504万人で、上海の東部に立地する)の調査結果の比較を行う(各調査の回収率などは当日配布する)。

3. 学校外学習時間の変化の国際比較

まず、家庭における学習時間の変化の国際比較をみてみよう。

表1 家庭における学習時間(分/週)

学年	日本A		香港A		上海A	
	平均	変動係数	平均	変動係数	平均	変動係数
小3	268.59	1.00	291.61	0.92	423.46	0.81
小6	279.27	1.07	293.39	0.99	586.03	0.61
中3	340.35	0.95	252.21	1.05	740.37	0.50
高3	319.08	1.42	408.50	0.87	706.58	0.60

表1の平均値から、どの学年においても上海の児童生徒の家庭での学習時間が最も長く、日本の児童生徒の家庭での学習時間が最も短いことが分かる(例外は、中3では香港の児童生徒が最も短い。香港は中高一貫校が多く、高校入試がないことに起因すると考えられる)。また、日本においては、高3の児童生徒の平均は小3の児童生徒の平均の1.2倍であるが、上海においては、1.7倍である。日本の児童生徒は、上海の児童生徒に比べて、家庭での学習習慣が定着するのが遅いのみならず、学校段階を上がるにつれ、その増加率が低いことを現わしている。これは、日本においては塾などの学校外教育の機会が普及しているために、家庭での学習時間が相対的に短いことを現

わしているのでしょうか。

そこで次に、家庭と塾などでの学習時間を合体した学校外学習時間の変化の国際比較をみてみよう。

表2 学校外(家庭および塾における)学習時間 (分/週)						
学年	日本A		香港A		上海A	
	平均	変動係数	平均	変動係数	平均	変動係数
小3	276.88	1.10	397.55	0.82	481.81	0.83
小6	334.87	1.17	441.47	0.80	644.97	0.64
中3	547.56	0.79	327.96	0.88	928.51	0.51
高3	476.11	1.60	521.03	0.74	830.53	0.62

表 2 の平均値から、塾などにおける学習時間を足すと、上海と日本の差は縮小するものの(例えば、高3時の家庭における学習時間では 2.2 倍だったのが、1.7 倍に縮小)、どの学年においても、上海の児童生徒の学習時間が最も長く、日本の児童生徒の学習時間が最も短い(香港の中 3 は例外)という傾向が依然と見られる。つまり、日本の児童生徒の放課後の学習時間の平均は、塾などでの学習時間を考慮しても、国際比較から低いということを示している。

しかし、表 1 においても表 2 においても、注目すべき点がある。それは、中 3 を除くすべての学年において、日本の変動係数(相対的なばらつき具合)が最も大きいことである。つまり、日本においては、勉強を非常に長くしている児童生徒と、全くしていない児童生徒が存在することを示唆している。

4. 学校外学習時間の格差の国際比較

そこで、次に家庭背景による学校外学習時間の格差の国際比較を行う。家庭の経済的要因と文化的要因による差異を検討する。家庭の経済的要因としては、家庭の収入の変数を使用する。家庭の文化的要因としては、家庭における本の数、親の学歴、親の教育期待を使用する。保護者調査は小 6、中 3 のみにおいて実施しているため、右 2 学年の結果を示す。

表 3、表 4 は、各グループの平均値とともに、上位グループと下位グループの学習時間の比率を示している。比率の値から、日本においては、家庭の経済的要因・文化的要因による児童生徒の学習時間の差異が、香港、上海に比べて、両方の学年において大きいことが分かる。特に早期の段

階(小 6)において、その傾向が顕著である。例えば、日本における小 6 の児童生徒で、本数が非常に多い家庭の子どもは、本数が非常に少ない家庭の子どもの 3.78 倍長く放課後学習するのに対して、香港においては、この差異は 2.34 倍、上海では 1.89 倍にとどまる。

表3 学校外学習時間と家庭の経済的・文化的要因の関係(小6)						
	日本A		香港A		上海A	
	学習時間 (分/週)	比率	学習時間 (分/週)	比率	学習時間 (分/週)	比率
家庭における本の数						
10冊未満	180.53		233.52		411.18	
10冊以上200冊未満	335.76	3.78	458.41	2.34	638.59	1.89
200冊以上	683.16		545.36		775.34	
親の学歴						
非大卒	442.47		437.93		587.55	
大卒	241.07	1.84	444.49	1.01	720.26	1.23
親の収入						
低位層	222.91		407.11		509.78	
中低位層	240.00		494.78		608.12	
中高位層	374.31	2.67	423.05	1.25	690.65	1.52
高位層	595.83		510.00		774.80	
親の教育期待 ¹						
短大以下	207.79		385.45		395.21	
普通の大学	340.78	3.42	479.17	1.26	650.07	1.76
難関の大学以上	711.55		487.29		696.37	

1: 香港、上海では、「普通の大学」「難関の大学」ではなく、「大学」「大学院」が用いられた。

表4 学校外学習時間と家庭の経済的・文化的要因の関係(中3)						
	日本A		香港A		上海A	
	学習時間 (分/週)	比率	学習時間 (分/週)	比率	学習時間 (分/週)	比率
家庭における本の数						
10冊未満	345.94		268.48		643.55	
10冊以上200冊未満	574.43	2.07	333.55	1.23	957.33	1.60
200冊以上	715.14		331.54		1028.68	
親の学歴						
非大卒	430.89		306.16		875.59	
大卒	682.76	1.58	385.00	1.26	1046.59	1.20
親の収入						
低位層	477.26		318.40		811.10	
中低位層	579.26		253.91		878.36	
中高位層	683.01	1.57	338.57	1.26	1032.18	1.33
高位層	748.18		399.88		1082.72	
親の教育期待 ¹						
短大以下	394.19		286.74		634.69	
普通の大学	725.79	2.21	314.90	1.26	945.48	1.68
難関の大学以上	869.74		362.65		1064.67	

1: 香港、上海では、「普通の大学」「難関の大学」ではなく、「大学」「大学院」が用いられた。

日本の教育社会学では、塾での学習時間は親の教育戦略・投資の枠組みで、家庭での学習時間は本人の努力の代替指標として論じられることが多いが、本報告では、この二つを合体することにより、より国際比較可能なデータにするとともに、学校外学習時間の格差の程度を再検討する。発表では、家庭での学習時間、塾などでの学習時間、それぞれの意味するところや概念的枠組みについても議論を深める。